

## 1. 研修講師の氏名、専門分野、保有資格、講師経験の有無

氏名：原田 敬美

専門分野：建築・都市計画・地方自治

所有資格：技術士（建設部門）、博士（工学）、一級建築士

講師経験：東京都職員研修所（1981年）以降、建設省（現国土交通省）、東京都庁、多くの地方自治体で建築、都市計画、地方自治（アメリカの都市計画制度）などのテーマで500件以上の講演をしました。また、海外の学会、大学でも講演をしました。

## 2. 研修テーマ

### 来たる大地震と耐震技術の課題 ～ 過去の大震災から学ぶこと

## 3. 研修の概要

海外含め過去の大震災の実情を学び、巨大地震への備えについて学ぶ内容です。構成内容は以下の4つです。（1）地震の特性、同じエネルギーでも、周期、地盤、深さ、加速度、方角などで被害は大きく異なります。（2）大地震の事例、関東大震災、ロサンジェルス・ノースリッジ地震、阪神淡路大震災、トルコ・コジャエリ地震、ジャワ島沖地震、熊本地震などの被害実態を紹介します。関東大震災の後、延焼理論が生まれました。宮城沖地震の後、1981年新耐震基準が生まれました。阪神淡路大震災の後、中間検査制度が生まれました。熊本地震後、どのような耐震基準が生まれるのでしょうか。（3）政府が発表している南海トラフ巨大地震で被害想定は220兆円、首都圏直下型地震の被害想定は112兆円。（4）地域特性に応じた耐震技術の課題。

## 4. 研修対象とする職員

建築、土木系職員、防災担当職員。

## 5. 研修受講により期待される効果

地震の特性、これまでの大地震被害の実態、その後の対応について学ぶことができます。今後想定される巨大地震への対策の参考材料を学ぶことができます。